

*小学生のインフルエンザ予防接種についても補助してほしい。

*（現物給付制度について）知らないので教えてほしい。

*受診時の金額の不足解消となり、とても助かっている反面、一定額以上はかからないということで安易に受診される家族も増え、待ち時間が長くなるのでは…と考えていました。その点はどうだったのか私には分かりませんが、主旨である安心して子供を産み育てることのできる社会へということに関しては、ありがたい制度でした。ただ、医療費も子育てで気になる面の1つではありますが、一番の悩みは皆さん「学費」ではないのでしょうか？

*評価しているが、もう少し分かりやすく。その場で理解できるが、すぐ忘れてしまう。

*以前と比べると現物給付制度はとても良いと思いますが、県からの「補助金」の減額は、今後のことを考えると不安になります。

*長崎の地形（階段や坂道）から考えて、現物給付制度は必要だと思います。以前、市議の方に質問したことがありますが、長崎の医療費は被爆者に使われていると聞きました。毎年、被爆者は減少していると思うし、未来の子ども達のために医療費を使ってもいいと思います。今回の現物給付導入の際もかなり経費がかかっているのに、また変更となるとそこにまた経費がかかります。因みに熊本では、お財布をもたなくても病院に行けるそうです。

*年齢を小学6年生までにしてほしい。できれば小児科対象となる年齢まで引き上げてほしい。

*母子家庭や非課税世帯は無料にしてほしい。

*県がどうして補助金をカットする予定なのか意味がわかりません。新幹線と関係があるのかわかりませんが、福祉、特に子どもに対して充実させないでどうするんですか？もっと他に削るところがあるんじゃないかと思います。待ちに待ったこの制度を続けていってほしいです。本当に助かっているんです。この制度があるからといって、老人のように安易に受診したりしていないと思います。

*現物給付制度になって、金額を気にすることなく病院に行けること、市役所へ手続きに行かなくてもよくなったこと（以前は面倒で行かなかったこともありましたが）など、子を持つ親としてはすごく助かっています。

*子どもが多いと病院代もかかるので、高校入学前までにしてほしい。

*子どもが生まれてから6回転勤しましたが、今までのところは現物給付制度だったので、毎月手続きしなければならぬ長崎県にきてびっくりしました。病院ごとに書類を記入しなければならないので、大変不便です。制度が変わってとても助かりました。

*東京都では子どもの家庭からの医療費負担はゼロです。何故地方によって違うのか！疑問に感じます。

*小学校就学前までの給付ではなく、小学校卒業まで給付を延長してほしい。

*以前佐賀県の武雄市に住んでいた時は、月300円で何度でも医療を受けられていたので、初めて長崎に来た時、不便さにびっくりしました。書類を出しに行った時、薬の分と病院の分の領収書をあやまってはってしまった時、“もう一度来い”と言われたのにはとても腹が立ちました。小さな2人の子どもを連れて、駐車場代もはらって、何百円かのためにわざわざきたのに、かえされるのはもうごめんです。今の現物給付はやめないでほしいです。

*小学校卒業まで延長してほしい。幼稚園よりも、小学校6年間の医療費がすごくかかっている…。

*長崎市内なのに、長崎大学病院ではこの制度は使われていませんでした。どの病院でも使えるようにしてほしいです。

*今後もぜひ継続して欲しいと思います。

*小さい子どもがいるので、毎週のように病院に通い、手続きに通いと大変だったのが、楽になって良かったのですが、「現物給付制度」には1億円もカットする人件費などがかかっているのでしょうか？補助金の減額を阻止するには「現物給付制度」はやめるしかないのでしょうか？

*子育ての中で医療費の出費はかなり大きいです。助成制度!!すごく助かっています。いい制度なのに補助金をカットされるのはおかしいと思う。少子化の中、がんばって子育てしていく上で、絶対必要です。

*子どもが小さければ小さいほど、煩雑な手続きは面倒で、つい後回しにしたり、もういいや、とあきらめてしまったりするものです。少子化の世の中で、子育て支援が叫ばれている中、長崎県はもっと子育てに優しい県になるべきだと思います。長崎市が現物給付制度を採用した時には、本当にうれしかったです。ぜひ県全体で実行してほしい。補助金を削減するなんてもってのほか!!他に削るところはいくらでもあるはずですよ。

*給付を減らすということは、子どもを育てるにいたって、生活苦が出てくると思う。そうすると子どもを産む若い人が減るのでは?少子化の世の中、弱者から税金を取り、弱者に対する制度補助金が減るのは、国としておかしいのでは?

*子どもでも歯科に通院すると長期になり、気付くと3ヶ月ほど通院していました。治療によっては薬も処方され、通常支払いであれば高額になります。定期的(6ヶ月後)にチェックをしてとなると、その分かかりますので、助成制度は本当に助かるというのが現状で、できれば子どもの年齢をもっと上げて助成されると、もっと助かるというのが本心です!!

*「現物給付制度」とても助かっています。病気の子どもを連れての手続きなど、病気でもないのに病院で記入してもらおうのは大変でした。県が反対するのはおかしい。少子化対策には一番わかりやすい制度だと思います。

*市民にとっていい制度なのに、県から補助金をカットされる理由がわからない(十分説明すべき!!)。

*他の自治体で現物給付制度があることを知っていたので、便利な制度だと思っていました。長崎市も制度が導入されてとても助かっています。

*福岡の方では、かなり以前から「現物給付制度」を実施されていると聞いたことがあったので、どうして「長崎」はその制度にならないのかと思っていました。長崎も今でこそ「小学校就学前」までに対象が引き上げられましたが、他県では早くからのところもあり、とてもうらやましかったです。県や市の財政状況によるのでしょうか、小学校低学年まで引き上げてもらいたいのが実情です。高齢化社会を懸念して、介護保険などその方面を重視しがちですが、将来を見据えて、少子化をくい止めるためにも、「子ども」に関する方面にももう少し目を向けて欲しいです。

*現物給付制度は手続きがなくなりとても助かっていますが、ピンク色の受給者証は、もう少しサイズを小さくしてほしいです(財布に入る程度に)。

*対象年齢をもっと引き上げてほしい。

*子どもが多い人にとっては、「現物給付制度」があると、ちょっとしたことで病院に通院しやすいと思うので、このまま続けて欲しいと思います。

*受給者証を毎回医療機関で提出するので、大きいのと、すぐに破けしまうので、とても不便です。もう少し小さく、丈夫に作っていただきたいです。



*乳幼児がいると、ただでさえ多忙で、助成金の請求手続きがすごく大変でした。現物給付制度は保護者の負担を減らすありがたい制度だと思います。

*現物給付制度になったことは、大変評価しています。今後県下全体で実施されることを願います。また、補助金の減額は信じられません。子どもは日本の宝であり、未来ではないでしょうか?少子化に歯止めをかけるためにも、子どもの医療、教育に税金を使うべきだと思います。正しい使い方をしてほしい。

*年齢をもう少し上げていただければ、もっと助かると思います。

*できるなら、小学校入学までは医療費を無料にしていきたい、と思っています。

*熊本ではずいぶん前から実施されていたので、やっと利用者にとって良い制度の導入があったと思う。でも三菱病院では、このシステムが導入されていないことを初めて知りました。そのことの表示などすべきだと思う。みんなが知る事が一番大切だと思う。

*福岡、鹿児島など他の県(しかも同じ九州)は、はるかに前から現物給付でした。制度の導入自体遅かった上に、補助金カットの方針とは驚きです。理由は何なのでしょう?

* 大学病院等はなぜ実施してくれないのかわからない。

* 病院を利用する回数が多い年代の子どもを持つ親としては、現物給付という制度は大変ありがたいと思います。実際、書類をもらいに行ったり、記入したりという時間さえままならない方もいらっしゃると思うので、今回の制度は忙しい親の立場からは大変ありがたいです。給付対象年齢の拡大もありがたいと思っています。

* うちの子は、よくカゼをひいて気管支炎になって、病院によくかかっています。子どもが小さいと病気がちなので、12歳までは負担してもらえれば助かります。前に他の県に住んでいたことがありましたが、そこは自治体の方で全額負担していて助かりました。長崎もそうなればいいなと思います。

* 小学校の低学年ぐらいまで期間を延ばしてほしい。小児科、耳鼻科などいろいろ病院へかかっているの、将来がとても不安だ。これ以上弱者を苦しめないでほしい。

* 小学校就学前を基準にするのは、2、3月生まれの子どもを持つ親にとって不公平だと思う。6歳になるまでにしてほしい。

* 子どもに対しての助成を減らしていくことは、少子化を進めているようなものなので、もっと補助していくべきだと思う。子どもを産みたくなる、育てたくなる、そんな長崎市であってほしいです。大阪市は1回500円で1ヶ月1,000円でした。他を減らすべきです。

* 補助金の削減などで個人の負担が増えると、少子化に拍車がかかると思う。

* 補助金を1億円も削減されるのならば、従来の償還払い制度に戻らざるを得ないのかもしれないと思うが、利用者にとっては、払い戻しの手間が省けて、とても助かっています。

* 今の制度だけでも大変助かっているのですが、喘息など持続的に薬を飲まなければならない場合など、特別に小学生まで枠を設けて欲しいと思います。

* 問9にて①と答えましたが、長崎県民としては、少し考えます。子育てしやすく、子どもを育てようという環境がもっと整ったらいいなと思います。

* 子どもはたくさん産んでほしいという割に、子育てに関する助成は減額の一方でおかしいと思います。

* これからも続けてほしい。

* 現物給付制度は、市役所に何度も足を運ばずにすんで助かっています。しかし、補助金を削減されるのは困ります。現状維持を強く望みます。よろしく願いいたします。

* 現物給付制度の実施も他都市と比べるととても遅い。小学校まで、あるいは小学校3年生くらいまでに延長したらどうか、と思う。以前住んでいたところでは、「薬の容器代」(30円とか…)のみ支払い、あとの負担は全くありませんでした。

* やっと現物給付制度が始まったという感じだと思う。もっと子どもの住みやすい県になるといいと思う。愛知県など参考にしてほしいです。

* 以前に比べ医療費も安くなりとても良かったと思いますが、他県に比べるともう少し改善して欲しいと思います。

* 現物給付になる前は手続きを忘れていたり、助成が少額の場合、手続きしないこともあったのですが、今は確実に簡単にサービスを受けることができ、とても助かっています。

* 他県では無料という所もあるみたいなので、そうしてもらいたいと思う。小学生も対象にして欲しい(子どもは病気やケガ出頻繁に通院するので、せめて小学生までにしてもらいたい)。

* ようやくという感じがします。今までの制度はとても大変で、少しでも出たくないという行政の姿勢を感じていました。乳児を抱え、申請に行ったり郵送したりで大変でした。今はとても助かっています。欲を言えば、以前他県で受けていた窓口払い0の助成を国がやって欲しいです。

* 今の制度については良いと思います。今後、予防接種(インフルエンザ、水痘、おたふく風邪)などについても、

はしかなどのように、国で認めて無料にして下さんと、安心して子育てができると思います。

*長崎は全国的に見ても、制度そのものの立ち上げが遅れていると感じます（他県で住んでいた経験から特に）。その他の子どもに対する福祉制度も全て遅れていると思います。もっと子育てしやすい市や県にしていきたいと強く願います。

*1億円カットはどちらに移行されるのでしょうか。県に説明をお願いします。

*現物給付どころか、負担金が全くない「乳幼児医療無料化」の自治体が多い中、こんなレベルでもめているのが情けない。はっきり言って、「九州新幹線」は無くても命に差しさわりはないが、医療費は命に直結することもある。普通に優先順位を考えて欲しい。

*乳幼児は体力的に病気になりやすいので、病院に通院することが多くて、金額的にもかかっていました。福祉医療費受給者証を提示することで、定額を支出するだけなので本当に助かっています。

*制度が変更になりとても利用しやすくなったのに、補助金を削減して制度が変われば病院へ行くのも考える。少子化の今、とても子育てしにくい環境になっている。

*県から補助金を減額されても、引き続き現物給付を実施して欲しい。また、市内で現物給付制度のシステムをとっていない所は、早くシステムを行って欲しい。

*大変助かっているのも、やめたり、給付金額を減らしたりしないで欲しい。

*持病があり、定期的な通院もあり（喘息）、現物給付制度以前は病院や薬局での支払いも多く、助成分の戻りが2ヶ月ほどまとめてしまうと2万円を超えることもあったため、毎月の病院代の負担を実感していました。「現物給付」は私の家庭にとってはとても助かります。

*補助金を削減されると、「現物給付制度」はどうなるのですか？5歳の子どもはあまり病院へかかりませんが、7歳の子どもは喘息があり、早く現物給付があればよかったのにと思っているくらいなので、ぜひ続けて下さい。

*県の補助率削減について、詳しく知りたい。

*国として実施し、18歳未満の子ども全員を無料にして欲しい。

*子どもの1人が咳が出やすい体質なので、医療費が結構かかります。本当にありがたい制度だと思っています。減額になると負担が大きくなり、大変だと思いますが、大変な病気のお子さんや大人の方でも本当に困っている方のためなら、仕方のないことかと思えます。

*義務教育の間までは現物給付制度を実施してもらいたいと思います（一番お金がかかるので）。

*長崎は他県に比べ、子どもの医療費助成が安すぎるので、再度見直して欲しい。

*補助金の減額ではなく、他の経費の減額を考えて欲しい。アンケートを取らなくても、良い制度は利用状況を見れば分かることだと思う。

*他県より転入してきたが、以前は調剤も医療費もすべて現物給付＝無料で受けることができた。同じ税金を納めているのに、地域差を感じている。子育てする親として、少子化、少子化と言われているが、その対策が遅すぎ、子育てしづらい社会であるように思われる。

*長崎市の場合、未就学児が対象であるために、4月からは家の場合はまた医療費負担が大きくなります。上の子の時も3歳までで対象打ち切りだったので、できればもっと長く助成していただけたら助かります。

*どんどん良い制度は取り入れて、子育てのサポート体制を整えて欲しい。

*長崎市の医療費助成は月1,600円以上のものとなったいますね。それに対して助成額を上げて欲しいとの要望があると思いますが、タダだからと言って必要なく受診したり、検査を依頼したりする人が出てくる可能性がある（他都道府県でそういう人がいました）ので、現状の負担額で良いように思う。

*医療費助成の年齢をもう少し上げて欲しいです。

*現物給付制度を実施する自治体に対して補助金を減額するのは、絶対におかしいと思う。それならまた償還払い制度に戻し、今まで通り補助金は出して欲しい。そうでないと子どもが病気しても、病院を受診できない人が増えるだろうし、少子化に関してもますます大変なことになると思う。

*他県では医療費が無料の所もあります。同じ子育てをしているのに差を感じます。

*中学卒業までは医療費をゼロにするべきです。

*少子化対策のために、せめて小学生に上がる前までは医療費を免除に、小学校卒業までは現状の福祉医療費をあてていただけるようにして下さると助かります。

*うちの子は喘息が出やすい体質ですので、必ず何もなくても吸入等の予防薬が必要です。この制度になってから、発作が出た時にすぐに夜間センターにも行けますので、本当に助かっています。子どもに我慢はさせたくないのです…。

*堺市で出産・子育てをしていたので、現物給付は当然のことと思っていました。平成18年10月に長崎市に転居し、初めて現物給付が自治体の努力により実施されていると知りました。自治体別に制度が違うなんておかしいし、不便です(帰省先での受診事等)。国全体で取り組むべきです。

*とても便利に感じていますが、近隣の時津にかかっているため、その分は今まで通り助成の手続きが必要で、とても不便に感じています。県全体で実施されることを希望します。「補助金減額」などもってのほかです！

*現物給付制度に対してはとても評価しているが、対象年齢が低すぎる。小学6年まで対象として欲しい。

*県からの補助金が減額される理由を知りたい。長崎市は予防接種の個人負担額が他の市町村に比べ高いので、負担額を減らして欲しい。

*福岡県などは子どもの医療費はゼロだと聞いた。もっと進んでいる他の県を見て欲しい。補助金削減はありえない。長崎県は県離れ、少子化を望んでいるのか！！

*助成対象をせめて小学校卒業までにして欲しい。現物給付は非常に助かります。前の償還払い制度の時は申請後、市の担当の方が計算ミスをして返金額が足りないと言うことがありました。こちらが気づいたので、再度不足分を返金してもらいました。もし、こちらが気がつかなければそのままにされていたでしょうね。そういう点でも、絶対にすべての地域で現物給付制度にするべきです。

*他市のことは詳しくは分かりませんが、前に住んでいた所に比べ、自己負担分が高いことにびっくりしました。重い風邪の時は小児科で診察してもらいますが、鼻水、咳だけの時は市販の薬で済ませるようになりました。現物給付制度はとても良い制度だと思います。

*小学生までとくに低学年の間は病気やケガをたくさんするので、6年生までは助成制度を利用できるようにして欲しい。

*医療費助成についてですが、月上限1,600円になっていますが、1ヶ月の中で違う病気で数ヶ所の病院を受診することも度々あります。この場合は自己負担額が病院ごとに増えるので、もっと患者の負担を軽減する策をとって欲しい。

*子どもの医療費が無料じゃないことが信じられない！！

*このままではますます長崎県は子どもを育てにくい県になっていくのではないかと。雨の日に子どもが室内で遊べる施設がない。補助金の減額、1日800円の自己負担、子どもをたくさん産むのが不安。

*現状の制度の維持をよろしくお願いいたします。

*子育てしやすい国づくりをしていただき、そのためにも補助金の減額は見直して欲しい。

*子育てしやすい環境を整えて欲しい。子どもの医療費などを削減対象とすることなど、納得がいかない。現物給付制度を長崎市以外の市町村でも早く実施して欲しい。

*子どもの医療費は就学前までというよりも、小学生までは家庭に響くと思います。とくに喘息、アトピーなど。

ある程度大きくなると治まらない病気だけれども、助成対象にするなど、もう少し、考えて欲しいです。

* 小学校入学前までの子どもは病気に対する抵抗力が弱いので、流行の病気をしやすい状態にあるので、そんな時に現物給付制度は本当にありがたい制度だと思っています。ですが、今回のアンケート内容にも書かれている「補助金の削減」に関しては、物価上昇している中、また市民を苦しめるのか…と思います。

* 現物給付制度は利用する側にとっては、とても良い制度だと思います。補助金を減額することで、負担額が増えることになったら意味がないと思います。負担額が増えるのであれば、前のようなシステムに戻して欲しいです。そして、負担額の増加は少子化問題に反しているように感じます。

* 他の手続きなど、他県と比べ、良い方法への進歩が後れているように思います。少子化と騒がれている現在、助成制度は必要です。減額は重要性を考えるべきだと思います。

* 以前よりはよくなったが、福岡市などは無料である。

* 医療費助成制度、現物給付制度によりとても助かっています。しかし、子どもは小児科、歯科、皮フ科 etc. 1つの病院だけにはとどまらないので、実際にはかなりの出費になる月も多々あります。現在は子どもが2人なので支払える範囲ですが、3人、4人と欲しいと思ったときには、かなりの医療費がかかってくると思います。少子化対策のためにも3人目からの医療費の補助がもう少し充実すると良いなあと思います。

* 前のわずらわしい手続きから解放されて、この時間を子育てにあてられるので助かっている。長崎県は広報などで子育て支援とっているが、9のようなこと（補助金の減額）をするのは矛盾していると思う。子育てに対しての補助金を削減すれば、若い人達が子どもが育てにくいということで、長崎県から離れていくと思う（県からの人口流出）。

* 市の児童手当は小学6年生まで引き上げられ、県は小学校に上がるまで、それに市はなにかとよく、県はけちだ。少子化の今、児童手当を市みたいにあげないと、生活が苦しい。

* 小学校低学年までは、病院、歯科医に頻繁にかかります。病院や歯科医、調剤薬局での自己負担の軽減は非常に助かっています。小さい子どもを2人、3人と育てている家庭は尚更だと思います。小さい子どもがいる家庭では医療費が家計を圧迫する月もあります。少子化に歯止めをかけるためにも、家計の負担を軽減する制度は大事です。現物給付制度に助けられています。なのになぜカットされるのか？子ども達に優しい、子ども達を育てやすい県政・市政であってほしいです。

* 制度の違い（金額や年齢）が県又は市（町）によってかたよりがあると思うのでなくしてほしい。

* 子ども2人がぜん息気味で毎月何度も病院へ行かないといけません。今は助成制度で大変助かっていますが、小学校に入ってからの病院代がとても心配です。ぜん息助成やもう少し期間が長くなると嬉しいです。

* 質問5でも書かれている様に長崎市のみにかかわらず、県全域、もしくは国として実施してほしい。

* 福祉医療費受給者証を使用できる年齢の上限をもっと上げてほしいです。補助金を削減するのは新幹線を作る事によって財政難になっているからとしか考えられない。そういう事をするから子どもの数が年々減るのだと思う。

* 医療費助成制度は、現在就学前までですが、小学校（特に低学年）でも病院によくかかるので、年齢をもう少し上げて欲しいと思っています。

* 最近あまり病院に行かないので最初は知りませんでした。もう少しの期間宣伝しないといけないのではないのでしょうか？

* 実際、去年10月に子どもが入院をして、その時に現物給付制度でほぼ食事代だけの支払いだけだったのでビックリしたのと、とても助かりました。補助金減額はしかたないのかなと思いますが・・・入院費など小学校とかまで半額とかになったらもっと助かるのかな・・・とは思ったりします。（実際、去年入院を経験して・・・めったにないのかもしれませんが・・・）

* いくらになるか心配しなくていい。

* 西彼杵郡に住んでいるので長崎市の方がうらやましいです。仕事でなかなか役場に行けない家庭も多いと思います。せめて、土曜か日曜の数時間、窓口を開けるか、ポスト（切手不要）を設けるか検討してもらいたいと思いま

す。

* 転勤族のため、色々な県の助成制度が違っていつも驚きます。制度が変わり手続きがなくなり助かりました。が、他に比べるとまだまだ補助金が少ないと思いました。

* 少子化問題のためにも、現物給付制度は継続してもらいたい。

* 現物給付制度はとてもいいと思います。全国の親はこの制度がいいと思っているはずなので国は少子化対策のため実施するべきだと思っています。

* 小さな子どもがいる家庭では、従来手続きに市役所へ行っていた手間が省け、とても助かっています。県の補助金削減の方針はTVで観たが、担当者の説明含め納得ができない。市民の声を（子どものいる家庭）の声を役所は反映させるべきだと思います。

* ピンクの申請用紙を使っての方法は資源のムダ使い。前のやり方に戻るのならば、助成金がカットされるのがまぬがれますか？なぜ「補助金」の減額があるのか理解に苦しみます。

* 手続きの煩雑さがなくなり、助かっています。今後は小学生の助成制度も検討していただきたいです。

* 少子化問題にとっても現物給付制度は大きなメリットであり、補助金削減はおかしいと思います。全国では無料のところもたくさんあります。長崎県もそうなるよう願っています。

* 福岡県は自己負担はありませんでした。

* 現物給付制度は、子ども4人いるウチにとっては、いつもためてなかなか出せなかったのでもとても助かっています。医療費助成制度は、上の子がぜん息でずっと薬を飲んでいるので、小6くらいまでであるととても助かるのになあ、と思っています。

* 親として、子どもの病院受診をさせやすくなった。子どもが多ければ多いほど、医療費の負担は大きい。医療費助成制度こそ子どもを産みやすい国へつながる。

* 以前住んでいた大分市では、（確か3歳まで）医療費は無料でした。（5年前に転入してきました）。長崎に引っ越して来て、手続きをして戻してもらおうという、小さな子どもがいるのに手のかかる制度にとっても驚きました。他の市町村も現物給付を実施して欲しいと思います。

* 県や市町村によって、助成の金額や方法が違うのはおかしいと思います。

* 子どもが少ないと言われているのに、県や国がもっと助成していかなければならないのではないのでしょうか！！もっと子どもを育てやすい環境を作ってください。削減するなんておかしいと思います。

* この制度の前までは、高いお金を払っても、手続きの意味がよくわからず請求していなかったのでもったいない事をしていたなあと思っています。この制度は受給者証を忘れずに受診すれば窓口の支払いは決まっているし、安心して病院へ行くことができます。このまま続けてほしいです。

* 少子化が進んでいるので、少しでも子どもを育てやすいように、助成制度、現物給付制度はとても良いと思います。ちいさい時ほど病気になるものなのでとても助かり、費用が少なく済むと子どもを産む人も増えると思います。

* 長崎は、子ども達より被爆者が優遇されすぎている。ますます、少子化は進むんじゃないかと思っています。

* 長崎は子どもより、原爆に対しての手当などの方が（被爆者）優遇されすぎている。ますます、子どもを産めなくなる。

* 少子化対策の1つとして、より前向きな給付を進めて欲しいです。

* 他県の方に聞くと未就学児童は全くかからない県もあると聞いたので、減額ではなく、もっと増額して頂きたいです。

* 小学生のインフルエンザ予防接種を医療費助成してほしい。

* 小学校卒業まで制度を適用してほしい。

*子どもの福祉の充実には大賛成です。お年寄りの方も大切ですが、同様に子どもも大切だと日頃から感じています。

*上の子の場合は3歳までの助成制度で、途中から制度が変わり、助成がまた開始して、今現在の小学校前までの家庭の方は、大変いいと思います。以前は3歳までと制度は厳しいものがありました。年齢が低いと病気もたくさんします。できれば6歳から10歳位に制度を改正してもらいたいです。

*県は補助金減額をするのはおかしいと思う。ぜひ、このままで続行していただきたいです。

*歯医者に通院しているので、手続きが毎月大変でした。今はすごく助かっています。

*これから長女が小学生になります。子どもの数が減少していますので、その分安心して育てられるよう、もっとしっかりした制度になると良いのにとします。小学生までこの制度を延長していただきたいです。

*福岡は診察代と薬代が最初から払わなくていいので、長崎もそうして欲しい。市内の病院はほぼ使用できるのに、大学病院では使用できないのでおかしいと思う。

*6歳までではなく、持病持ちの子どもにある程度補助金を出して欲しい。持病持ちの子どもの払い戻し制度や薬代だけでも補助していただきたい。

*現物給付制度で、今までより医療費が安くなり、安心して子どもを病院に行かせることができると思ったのに、「補助金の削減」をされては、現物給付制度の意味がないのでは。

*助成対象年齢を小学生くらいまでは上げて欲しいと思う。

*この制度を今日初めて知りました。とても良い制度だと思うので、1人でも多くの方に広めて欲しいです。私もお友達に紹介して回りたいと思います。、ありがとうございました。

*本当に助かっています。手続きも無駄が減って良かったですし、就学前まで助成していただけるのはとても大きいです。

*上限1,600円が高い。

*現物給付制度や医療費助成制度があると、いつでも安心して受診ができるが、この制度が無くなると、受診したくてもできなくなる可能性もあるので、ぜひ続けていただきたい。

*知人が熊本県にいます。熊本ではずいぶん前からこの制度を実施しているようなのに、長崎は何にしても取りかかりが遅い。役所の窓口の方がなれている人とそうでない人の差が激しすぎて、イライラすることがある。必要な書類に記入させられたことがあるし。補助金減額は、私たち利用者にとどのような影響があるか分からないので、何も言えない。

*就学前まで完全医療費無料にして欲しい。

*個人病院では自己負担分で済んでいるが、市民病院では初診2,500円程かかったため、全て統一して欲しい。

*

*子育て支援に力を入れているように見えて、今後、県からの「補助金」減額があったり、おかしいと思います。今後も現物給付制度が続けられるのか不安に思いました。

*小さい頃はすぐに病院に行くことが多く、医療費はけっこうな負担となるので、今まで同様に小学校入学前まではやって欲しい。

*負担が減り、大変助かっています。長崎市以外にも広がると良いなと思います。子どもや親を支えてくれる人間味のある温かい制度だと思います。

*兵庫県から引っ越して来たのですが、兵庫県は現物給付制度をとっており、長崎県で非常に不便を感じていました。それが変わって本当に良かったです。

*とても分かりやすいし助かる制度なので、続けて欲しい。

*長崎の現物給付制度は他の県（横浜などは早くから）に比べ遅いくらいで、やっとという感じだったので、補助金減額はおかしすぎる。子ども1人に対して医療費はかなりかかるので、これでは（減額）、少子化問題を無視していると思う。

*他県では小学校就学前の子どもは自己負担なし、無料と聞きました。現物給付で大分助かっていますが、そういうのを聞くとまだまだなのかなと思います。一回の負担額上限が800円で月1600円という値はどうやって決まったのかも疑問です。

*少子化と言われておりますが、その様な制度があれば段々と変わって来ると思いますので全地域で実施して頂きたいと思います。

*補助金を減額するという事は医療費助成制度は今後どうなるのですか？

*医療費助成が数年前から、通院も小学校就学前までになり大変助かっています。小学生の間も助成してもらったらもっと助かります。インフルエンザ等の予防接種も小学生になるとすごく高くなるので少しでも助成していただけたらと思います。

*子どもを育てる気持ちをそがれる様です。子育てをしやすくして下さい。今の制度になり1年分ためていた病院の領収書を整理する事もなくなり助かります。3人分同時に請求する時は本当に大変でうんざりしていました。請求する事を忘れることがなくなり、この方法になり良かったと思います。



*助成制度でとても助かっているので、これからも変わらず続いてほしい。

*今回の現物助成制度について全く知らなかった。もっと子育てに関する事を子どものいる家庭にわかりやすく伝えて欲しい。

*福祉医療費受給者証をカードにするか、せめて保険証と同じサイズにしてほしい。すぐにボロボロになるし、持ち歩きにくい、母子手帳からもはみ出る。

*医療費の助成はとても助かっているのでこれからの続けて欲しいです。

*幼児のころは病気にかかることが多いけど、小学校低学年のころはケガで病院に行くことが多くなります。でも通院では個人で加入している生命保険とかからは給付されにくいので少しでも国や県が費用負担してくれると助かると思います。それと未来ある子どもにかかわる補助金をカットしなくても、もっと他にカットできる財源があると思います。天下りはいらぬ。

*もともと補助金はどのようなことに使われていたのでしょうか。給付の処理などの人件費だとすれば多少の減額は仕方ないとは思いますが、利用者としては手間が省けてとても助かっているので、今までの補助金をもっとよくなるように乳幼児制度等に役立てて欲しいと思っています。

*3才未満は医療費は無料でもよいと思う。

病院によってはシステムをよく把握していないところもありました。初めの頃なのでやむをえないかと思いましたが、もう少し制度についての理解徹底した方がよいと思いました。

現物給付制度になって本当に良かったと思っています。

*一病院に対してなので一ヶ月通して全ての病院を合わせて1ヶ月あたり（1日800円）1,600円の負担にしてほしい。

*県がなぜ補助金を長崎市に対してカットするのか説明をして欲しい。

*現物給付を受けられた期間は約1年だけでしたが、前に比べたら助成金（ピンクの用紙）を出しに行くのも大変だし、必ず漏れがあったので、この制度になり非常に助かりました。就学前までではなく、もっと期間を上の方まで延ばして頂きたいです。

*義務教育の間まで期間を延長してほしい。

*他県では無料で受けられるというのを聞いたことがあるため長崎市でもと常に思っていますが、助成分の手続き

をしなくてよくなったことについてはとても助かっています。

*昨年4月からこういう制度ができてとても助かっているのに、ころころと制度を変更されてはとても困ります。

*子どものためには十分に保障をしてほしい。

*子どもは、いつも風邪をひき病院に通いづけなので減額になるととても困ります。

*現物給付制度になって調剤薬局での支払いがなくなり、助成分を戻してもらう手続きがなくなったから助かっているのでも今後も続けてほしい。

*小学校就学前に通院もなるととても助かりますが、できれば小学校に通うようになって助成してほしいです。きりがいいかもしれませんが中学校就学前に。

*とても良いと思うが、共済は対象外で今までと変わらず手続きが必要なので共済も現物給付の対象にして欲しい。県の補助カットは国の制度が変わらないと変えれないと思うので、国へ要望する必要があると思う。マスコミや国会議員を使ってやる必要があると思う。

*福岡に住んでいたのでも、やっと長崎も導入されてよかったと思っている。

*以前までは一枚一枚助成分の紙を書いて支所まで行って、とても手間がかかっていましたが、今ではその手間がなくなり助かっています。現物給付が長崎市だけとは知りませんでしたので、他の地域でも実施したら非常に保護者は助かると思います。

*現物はとても助かります。2人の子どもに冬場など病院代がかかり負担が大きかったです。以前は1~2万円代支払ってました。戻り金の手続きも何枚も記入するのも大変だったし、子どもの医療費助成の年齢制限がもう少し伸びるとよいと思います。

*制度には問題はないが、受給者証を紙ではなく持って歩くのに大変なのでカードサイズのものに変更して欲しい。

*良い制度なので、これからも続けて欲しい。

*医療費助成制度はとても有難い制度だけど、小学校入学前までの子対象というのはなぜですか？小学生や中学生も制度に入れることはできないのでしょうか？

*子どもが誕生してからずっと病院にかかりっぱなしです。食品類も値上がりし、家計が苦しい中この制度は小さい子どもを持つ者にとって本当に嬉しいかぎりです。以前は、支所に書類を提出しなければならず、働く者にとって負担がありましたが今の制度は助かります。これからも続けて欲しいです。

*長女がぜんそくの為、度々小児科を利用しています。なるべく同じ小児科を利用していますが、どうしても他の病院を利用しないといけない時は、また800円かかってしまうのが少し不便に感じます。

*非常に評価しているので絶対に続けて欲しい。

*子どもは病気にかかりやすいので何の制度にしても利用しやすくして欲しい。

*現物給付だと手続きがなくていいので助かっている。領収証を全部とってなかったり、病院で証明してもらうのも仕事している時は時間がなく、一人目から今までの分全く手続きしてません。

*岡山にいた時は子どもの医療費はすべて無料でした。長崎もそうになってほしいです。少子化がますます増えていくと私は思います。

*他県より転入し、長崎県で出産・育児をしていますが、平成19年4月より前の給付制度のあまりの繁雑さ(子育て支援の一環といえども、手続きが複雑すぎて余計な手間ばかりかかる)にあきれていました。さらに補助金減額とは、長崎県の子育て支援に対するナンセンスな態度を強く感じます。

*他県出身者です。実家では「現物給付制度」があたりまえだと思っていたので、長崎でやっと昨年からは行われるようになったことが不思議なくらいです。問9の①のように強く感じます。

*小さな子どもを連れて役場など手続きに行くのはとても大変だったので、以前の分でも助成分を戻してもらう手続

きを結局とっていない分もあるので、現物給付制度になりとても助かっています。

* 教職員家庭は現物給付対象外と聞きましたがなぜでしょうか。病院にかかるということは子どもの体調が悪い時なので後日とはいえ申請の用紙を取りに行き記入して領収書をつけ提出に行くという時間はとりづらいです。現物給付はかなりの印刷費、人件費の削減になるのではないのでしょうか。

* 小学校1, 2年生位までは病気にかかることも多いと思うので、できれば低学年までは、この制度があると非常に助かると思います。

* 継続した通院で人気の病院は予約1ヶ月に1~2回しか通院できないため、毎回800円支払っている。初回のみにしてほしい。

* 自治体単位では財源の格差の問題があるので国として実施してほしい。うちは幸い病院へ行く回数が少ないのであまり困ったことはないけど、月に何回も行く人もいる。収入によっては大きな痛手になる。収入によって無料にしてくれるとか12才までにするとかしてもらいたい。それから予防接種の助成も考えてもらいたい。

* 長崎県内では現物給付をしているのは長崎市だけかもしれないが他県を見ると、ほとんどがずっと前から施行している。長崎県だけ遅れているだけで、長崎市が特別すすんでいるわけじゃない。県からの補助金カットされた後どうするかは他都市のモデルと比較検討すればいいと思う。

* 今小1の娘がいますが、まだ風邪をひきやすかったりするので就学前ではなく、せめて低学年の2年生ぐらいまで制度が実施される事を願います。またインフルエンザの予防接種は、今は就学前までは助成がききますが、小学校にあがると金額も上がり2回接種は負担が大きすぎます。毎年のことなので、またタミフルやいろんな後遺症のことなどもあるので小学生までは助成がきくととても助かります。

* 現行の助成制度や乳幼児の救急医療体制では、子育て世代は近隣の市町村へ流出し、少子高齢化が進む一方だと思います。補助金を減額する理由がわからない。

* 子どもに軽度の障害があるため、いくつかの病院を受診しているので手続きが楽になった。

* ぜひ現制度の続行をお願いします。

* 子どもがいると手続きなどが思うより動けなくてできないこともあるので現物給付はとても助かります。

* 子育てをする人にとってはとても助かる良い制度だと思うので今のまま続けてほしいです。

* 現物給付制度は全国どこでも当たり前にするべき。移住地による格差はなくさない。

* 減額するのはやめてほしい。

* 子どもを安心して育てられる社会でないと、子どもを産む人がどんどん減るのではないかと思います。

* 10月末まで徳島に住んでいましたが全額無料だったので、長崎は月1,600円までいるので損した感じがしています。

* 子育て支援はどうなるのでしょうか。少子化対策を真剣に考えて頂きたい。

* 助成は本当に必要なものだと思う。しかし、病院受診が本当に必要でないような状態でも受信している方もいるのは事実なので、若いお母さん達の不安感の改善や、育児の指導にもっと力を入れて欲しい。(いろんな催しに来るお母さんはいいけど来ない方のフォローをして欲しい)

* 今からは働くお母さんが多くなるのに、この制度は大分助かっているのでありがたい。手続きに行く時間がないので家計にも助かっている。

* 少子化に歯止めをとということで、いろいろな取り組みがある中でも良い制度だと思っていただけに、なぜ後退させるような事をするのか残念に思います。

* それぞれの県において、助成制度の金額・年齢が違うけれど、長崎も小学校低学年くらいまで等年齢制限を増やした方がよい。長崎市だけということではないが、税金は確実に支払って助成制度等は手続きをしないともらえない等、不当を感じます。